

専門図書室からのお知らせ

福岡市市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）2階の 福祉図書・情報室 です。
ヤングケアラーとは法令上の定義はありませんが、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもとされています。（厚生労働省ホームページより引用）ヤングケアラーの支援には、福祉、教育などのさまざまな観点からのフォローが必要とされ、近年社会問題として着目されています。
今回は、ヤングケアラーについての資料を紹介します。

『子ども介護者 ヤングケアラーの現実と社会の壁』

祖父母や病気の親など、家族の介護を担う子どもたちに対し、国はようやく支援に動き出した。ヤングケアラー研究の第一人者が過酷な実態を明らかにし、ヤングケアラーの支援を考察する。著者が出会ったヤングケアラーの事例や、当事者である高校生への調査を公開。

濱島淑恵 著 KADOKAWA 2021年発行

『ヤングケアラーを支える Young Carers』

介護力と子どもの権利、どちらを優先すべきなのか！？家族の誰かの介護・ケアを行い、生活や学業等に影響が出る子ども「ヤングケアラー」。ヤングケアラーの実態を知るための視点や成長した元当事者の声や思い、支援体制づくりの動きなどを紹介。

Nursing Today ブックレット編集部編集 日本看護協会出版会 2021年発行

『ヤングでは終わらないヤングケアラー』

きょうだいヤングケアラーのライフステージと葛藤』

障がいをもつきょうだいの世話をしている「きょうだいヤングケアラー」。ヤングケアラー経験者で作業療法士、看護師になった著者達のエピソードやライフステージごとの心理や行動、調査や支援の動向、支援情報などを掲載。また、きょうだいヤングケアラーの近くにいる大人への提言を収録。

仲田海人編著 木村諭志編著 クリエイツかもがわ 2021年発行

『ウィズ・ユー』

高校受験を控えながら、優秀な兄や、家族を置いて家を出ていった父親、兄に大きな期待をかける母親、といった家族関係に悩んでいる悠人は、夜の公園のブランコに座るひとつ年下の少女、朱音と出会う。彼女は病気の母を支えながら幼い

